

一二二 長江村民共有秣山の儀につき届け書

伯耆国河村郡長江村

まぐさ

地種 秣山

字寺谷峯	反別	二反一畝三步
字同所	反別	四畝二〇歩
字深谷峯	反別	一反二畝二〇歩
字同所	反別	七畝二〇歩
字浅谷峯	反別	二反四畝二七歩
字同所	反別	二反四畝一歩
字段田峯	反別	二反四畝一〇歩
字大平峯	反別	二六歩
字同所	反別	四反八畝一歩
字高低野	反別	二町八畝九歩
字同所	反別	二反九畝二七歩
合十一ヶ所	合反所	四町六畝二四歩

此税無之

樹木栽培無之

樹竹種類及数無之

事由 從來之起原不明村方帳簿二モ記載無之候得共秣

こやこ

草荳採之儀人別勝手進退仕来候、尤耕地壤草山
二付樹木栽培及開墾等致候儀無之明治六年中村
民共有地券証ヲ御下渡相成居土地二御座候、

右之通相違無御座候也

河村郡長江村

戸長 音田卯三郎^印

明治十年三月十二日

嶋根県令 佐藤信寛殿

右隣接長江村持山ニテ同村人別ニ限リ秣草芟取方勝手進退仕来候儀相違無御座候、依之私共村方人別一同遺証二代ツテ保証仕候也

明治十年 河村郡門田村 人民惣代 岡本清九郎^印

三月十二日 同 清谷村 人民惣代 伊藤勘三郎^印

同 田後村 人民惣代 椿 芳蔵^印

嶋根県令 佐藤信寛殿

一二三 門田・長江兩村入会山につき協定書

盟約証

山野改租ニ臨ミ從來入会墳草芟採之ケ所、古書ニ依拠シ門田村地内從前之通、長江村ヨリ共有入会之儀願出シタリ、就テハ區長西岡公美殿副區長改租惣代專掌尾崎喜惣治殿実地検査アリ、將兩村ヘ古裁許状アル、其文ニ曰、三味線塚・三井ヶ坪・夫婦岩谷迄長江村入会勝手タルベシ云々、三味線塚・三井ヶ坪判然タリ、夫

そこ

婦岩 門田村ニテハ人別処有ノ林中ニアル岩ト申 齟齬シタルヨ

立ル、長江村ニテハ峯通ニ有之ト申立ル

リ、実地之広狭ニ関スルヲ以テ、再実地之景況ヲ検閲セラレ、門田村ヨリ唱ル獅子舞岩谷ヲ以夫婦岩ト察認アリ、故ニ古裁許状ニ記載アル夫婦岩谷ト之ヲ更正可致、尤前件獅子舞谷ヲ以夫婦岩谷ト更正スト雖、長江

、、、

村ニ於テハ、門田村ヨリユルキ岩ト唱ル岩ヲ以夫婦岩ト旧来言倣シタル故ニ該岩ノ下面込入会草茹タル旧慣

つかえ

アリ、随テ又門田村ニ於テモ旧来差間ナキニ由テ、入会同様草茹採勝手ニ為相働来リ候旧慣アリ、困テハ原長江村ハ草山稀少之村柄ニ付、此度、更正夫婦岩谷

元獅子 門田村ニテユルキ岩ト
南統箕ヶ坪ヨリ通ル道ノ上下
舞谷 長江村ニテ夫婦岩

言谷限り、從來旧習ノ如ク後來入会場ト可相定、尤和

談ノ上ハ長江村ヨリ山上山下ノ情義ヲ以、相当ノ草手料ヲ要シ、從來紛紜無之様可致旨、両村へ懇々御説諭之末、陸続戸長原田林次郎殿ヨリモ種々示談済方御取扱被下ニ由リ、其厚キハ隣村交際情ヲ思惟シ、示談ヲ整訂約スル左ノ如シ

第一条

一字夫婦岩之儀、門田長江両村申立齟齬致シ候ニ付、旧来門田村ヨリ獅子舞谷ト申立ル字ヲ夫婦岩谷ト察認候様、当区吏之御説諭ニ基キ字ヲ夫婦岩谷トシ、三味線塚・三井ヶ坪・夫婦岩谷、長江・門田両村共有地トシテ入会刈草進退勝手タルベシ

第二条

第一条ニ掲ル夫婦岩谷之儀、両村申立齟齬アルヲ以、実地検閲之上獅子舞谷ヲ以テ夫婦岩谷ト更正アルト雖、双方旧慣アルヲ以、本文区吏ノ御説諭ニ基

しや

キ這回更正、夫婦岩谷 元獅子
舞谷 南続箕ヶ坪ヨリ通ル道

ノ上下 門田村ニテハユルキ岩
長江村ニテ夫婦岩 ト云谷限り、如從來凡反別

三町歩後來入会場ト定メ、草刈進退勝手タルベシ、尤第三条ノ草手料ヲ要スル事

第三条

第二条ニ掲ル壕草山進退勝手タルヲ以、為草手料、明治十一年ヨリ毎年金壹円貳拾錢宛長江村ヨリ十二月三十日限門田村へ相立ツベシ

第四条

一前条草刈始終之定日等無之候事

第五條

一前条地図ニ付凡反別記スルモノニ付、実地測量区域
ヲ定ムルニ方ツテハ些少之差違可有之ニ付、互ニ協
議ヲ遂ケ不都合無之可致事

右定約スル所確守相違無之、因テ同様ノ盟約書ニ通ヲ
製シ両村ヘ一通宛保存候也

伯耆国第九大区三小区河村郡門田村

組長 岡本 利七^印

明治十一年七月 公撰村惣代組長兼 岡本市三郎^印

同 前田喜三八^印

戸長 岡本清九郎^印

長江村組長 岡本 弥蔵^印

同 音田権三郎^印

公撰村惣代 音田造酒蔵^印

同 岡本 市平^印

副戸長 音田鉄三郎^印

戸長 音田卯三郎^印

前書盟約交換スル條款確認スル者也

明治十一年七月 区長 西岡 公美^印

副区長兼山林原野改租

惣代專掌 尾崎喜惣治^印